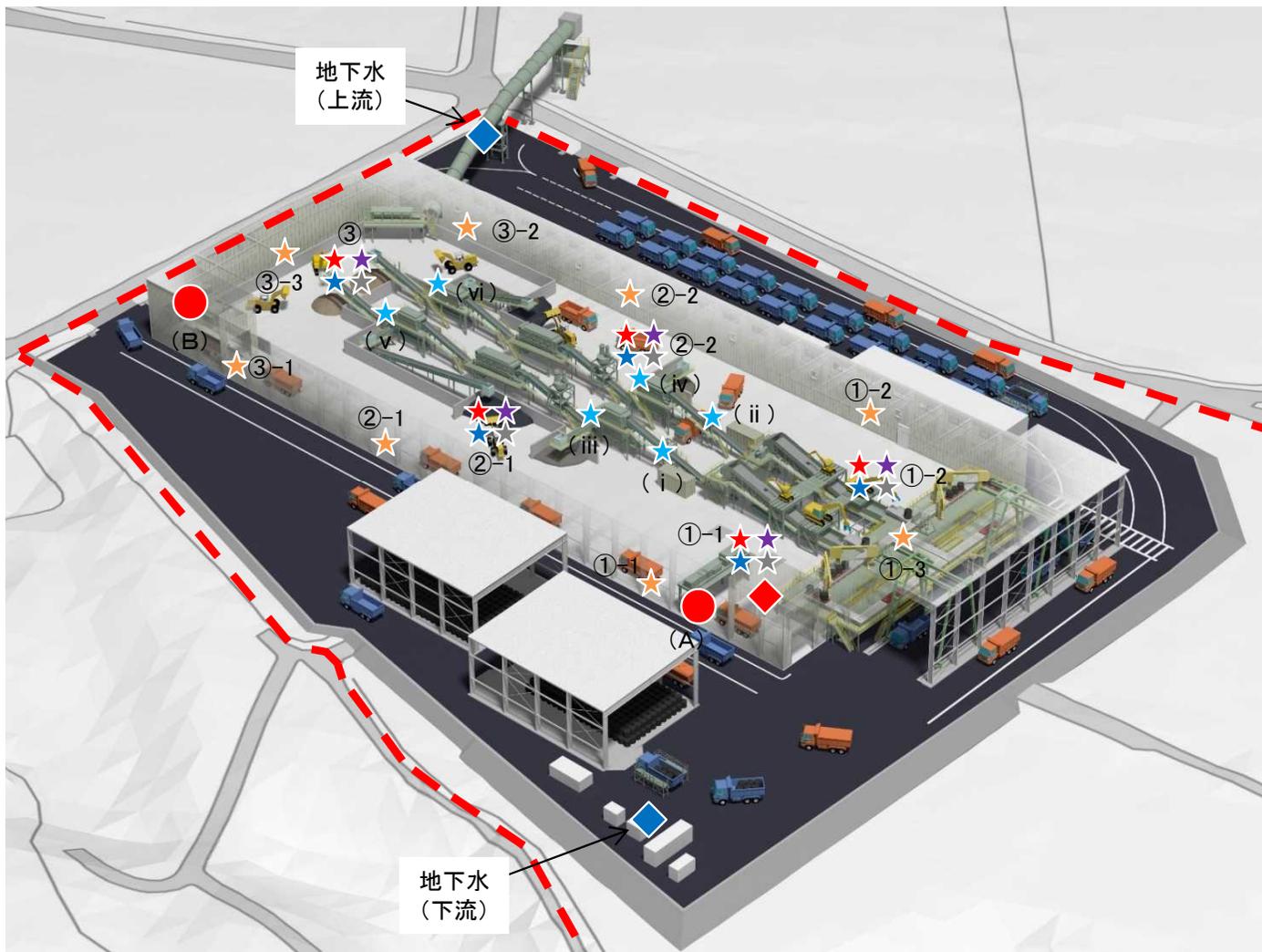


# 受入・分別施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



## 凡例

- |                 |                 |                |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ◆ : 地下水中の放射能濃度等 | ● : 排気中の放射能濃度   | ◆ : 排水中の放射能濃度  |
| ★ : 粉じん濃度       | ★ : 空間線量率(作業環境) | ★ : 空気中の放射能濃度  |
| ★ : 表面汚染密度(床)   | ★ : 表面汚染密度(壁)   | ★ : 表面汚染密度(設備) |
| --- : 敷地境界線     |                 |                |

# 受入・分別施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年3月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/7/10	(稼働前)	23	17	ND
	2019/3/6	(稼働後)	29	16	ND
下流	2018/7/10	(稼働前)	27	5.9	ND
	2019/3/6	(稼働後)	30	8.2	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/3/13 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：0.5 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/3/7 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	3.0
①-2	1.3
②-1	3.6
②-2	2.5
③	1.4

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/3/4 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①-1	0.24
①-2	0.14
②-1	0.23
②-2	0.17
③	0.22

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/4 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①-1	ND
①-2	ND
②-1	ND
②-2	ND
③	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137： $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2019/3/7 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①-1	ND
	①-2	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③-1	ND
設備	③-2	ND
	③-3	ND
	(i) 一次分別設備(A)	ND
	(ii) 一次分別設備(B)	ND
	(iii) 改質材添加装置(A)	ND
	(iv) 改質材添加装置(B)	ND
(v) 二次分別設備(A)	ND	
(vi) 二次分別設備(B)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年2月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/7/10 (稼働前)		23	17	ND
	2019/2/7 (稼働後)		29	16	ND
下流	2018/7/10 (稼働前)		27	5.9	ND
	2019/2/7 (稼働後)		18	8.3	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/2/13 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：0.5 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/2/6 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	1.6
①-2	2.1
②-1	2.9
②-2	2.3
③	1.0

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/2/4 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①-1	0.26
①-2	0.15
②-1	0.23
②-2	0.18
③	0.22

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/2/4 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①-1	ND
①-2	ND
②-1	ND
②-2	ND
③	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/2/26 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①-1	ND
	①-2	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③-1	ND
設備	③-2	ND
	③-3	ND
	(i) 一次分別設備 (A)	ND
	(ii) 一次分別設備 (B)	ND
	(iii) 改質材添加装置 (A)	ND
	(iv) 改質材添加装置 (B)	ND
(v) 二次分別設備 (A)	ND	
(vi) 二次分別設備 (B)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年1月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/7/10	(稼働前)	23	17	ND
	2019/1/8	(稼働後)	41	16	ND
下流	2018/7/10	(稼働前)	27	5.9	ND
	2019/1/8	(稼働後)	32	8.0	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/1/16 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：0.5 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/1/8 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	0.5
①-2	0.9
②-1	7.6
②-2	3.8
③	1.7

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/1/15 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①-1	0.21
①-2	0.14
②-1	0.22
②-2	0.18
③	0.20

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/1/15 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①-1	ND
①-2	ND
②-1	ND
②-2	ND
③	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/1/7 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①-1	ND
	①-2	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③-1	ND
設備	③-2	ND
	③-3	ND
	(i) 一次分別設備(A)	ND
	(ii) 一次分別設備(B)	ND
	(iii) 改質材添加装置(A)	ND
	(iv) 改質材添加装置(B)	ND
(v) 二次分別設備(A)	ND	
(vi) 二次分別設備(B)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年12月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/7/10	(稼働前)	23	17	ND
	2018/12/4	(稼働後)	38	16	ND
下流	2018/7/10	(稼働前)	27	5.9	ND
	2018/12/4	(稼働後)	25	7.8	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/12/18 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：0.5 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/12/4 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	2.8
①-2	1.2
②-1	4.3
②-2	0.9
③	1.9

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/12/4 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①-1	0.23
①-2	0.15
②-1	0.21
②-2	0.16
③	0.20

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/12/4 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①-1	ND
②-2	ND
②-1	ND
②-2	ND
③	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2018/12/19 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①-1	ND
	①-2	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③-1	ND
設備	③-2	ND
	③-3	ND
	(i) 一次分別設備(A)	ND
	(ii) 一次分別設備(B)	ND
	(iii) 改質材添加装置(A)	ND
	(iv) 改質材添加装置(B)	ND
(v) 二次分別設備(A)	ND	
(vi) 二次分別設備(B)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年11月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/7/10	(稼働前)	23	17	ND
	2018/11/20	(稼働後)	36	15	ND
下流	2018/7/10	(稼働前)	27	5.9	ND
	2018/11/20	(稼働後)	34	7.8	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/11/13 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：0.5 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/11/20 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	3.3
①-2	2.0
②-1	3.4
②-2	2.7
③	0.3

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/11/7 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①-1	0.23
①-2	0.14
②-1	0.21
②-2	0.17
③	0.21

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/11/7 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①-1	ND
②-2	ND
②-1	ND
②-2	ND
③	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/11/12 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①-1	ND
	①-2	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③-1	ND
設備	③-2	ND
	③-3	ND
	(i) 一次分別設備(A)	ND
	(ii) 一次分別設備(B)	ND
	(iii) 改質材添加装置(A)	ND
	(iv) 改質材添加装置(B)	ND
(v) 二次分別設備(A)	ND	
(vi) 二次分別設備(B)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年10月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/7/10	(稼働前)	23	17	ND
	2018/10/4	(稼働後)	30	16	ND
下流	2018/7/10	(稼働前)	27	5.9	ND
	2018/10/4	(稼働後)	22	6.4	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/10/10 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値: ろ紙部: 0.1 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部: 0.5 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

## ◆排水中の放射能濃度

排水の実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/10/4 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	2.3
①-2	1.4
②-1	1.4
②-2	1.8
③	0.2

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率 (作業環境)

測定地点	2018/10/1 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①-1	0.23
①-2	0.16
②-1	0.21
②-2	0.16
③	0.20

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/10/1 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①-1	ND
①-2	ND
②-1	ND
②-2	ND
③	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137: 5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/10/15 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①-1	ND
	①-2	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③-1	ND
設備	③-2	ND
	③-3	ND
	(i) 一次分別設備 (A)	ND
	(ii) 一次分別設備 (B)	ND
	(iii) 改質材添加装置 (A)	ND
	(iv) 改質材添加装置 (B)	ND
(v) 二次分別設備 (A)	ND	
(vi) 二次分別設備 (B)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年9月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/7/10	(稼働前)	23	17	ND
	2018/9/11	(稼働後)	28	16	ND
下流	2018/7/10	(稼働前)	27	5.9	ND
	2018/9/11	(稼働後)	18	6.3	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/9/12 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：0.5 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

排水の実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/9/11 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	4.6
①-2	2.6
②-1	5.9
②-2	3.2
③	1.6

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/9/3 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①-1	0.19
①-2	0.16
②-1	0.23
②-2	0.20
③	0.22

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/9/3 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①-1	ND
①-2	ND
②-1	ND
②-2	ND
③	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2018/9/5 (稼働後)
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①-1	ND
	①-2	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③-1	ND
設備	③-2	ND
	③-3	ND
	(i) 一次分別設備(A)	ND
	(ii) 一次分別設備(B)	ND
	(iii) 改質材添加装置(A)	ND
	(iv) 改質材添加装置(B)	ND
(v) 二次分別設備(A)	ND	
(vi) 二次分別設備(B)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年8月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/7/10	(稼働前)	23	17	ND
	2018/8/28	(稼働後)	28	17	ND
下流	2018/7/10	(稼働前)	27	5.9	ND
	2018/8/28	(稼働後)	36	5.7	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/8/22 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：0.5 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

排水の実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/8/28 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	3.3
①-2	1.9
②-1	2.8
②-2	3.3
③	1.8

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/8/20 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①-1	0.24
①-2	0.17
②-1	0.25
②-2	0.21
③	0.27

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/8/23 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①-1	ND
①-2	ND
②-1	ND
②-2	ND
③	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/8/4 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①-1	ND
	①-2	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③-1	ND
設備	③-2	ND
	③-3	ND
	(i) 一次分別設備(A)	ND
	(ii) 一次分別設備(B)	ND
	(iii) 改質材添加装置(A)	ND
	(iv) 改質材添加装置(B)	ND
(v) 二次分別設備(A)	ND	
(vi) 二次分別設備(B)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設(第2期大熊①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年7月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2018/7/10	(稼働前)	23	17	ND
	2018/7/25	(稼働後)	30	15	ND
下流	2018/7/10	(稼働前)	27	5.9	ND
	2018/7/25	(稼働後)	31	10	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2018/7/18 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1 Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：0.5 Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ◆排水中の放射能濃度

排水の実績はないため測定なし。

## ★粉じん濃度

測定地点	2018/7/25 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	1.6
①-2	0.7
②-1	1.4
②-2	0.7
③	0.6

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/7/20 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①-1	0.17
①-2	0.16
②-1	0.25
②-2	0.18
③	0.24

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/20 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①-1	ND
①-2	ND
②-1	ND
②-2	ND
③	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2018/7/19 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
床	①-1	ND
	①-2	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③-1	ND
設備	③-2	ND
	③-3	ND
	(i) 一次分別設備(A)	ND
	(ii) 一次分別設備(B)	ND
	(iii) 改質材添加装置(A)	ND
	(iv) 改質材添加装置(B)	ND
(v) 二次分別設備(A)	ND	
(vi) 二次分別設備(B)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.40 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>